

# 令和2年第4回下仁田町議会定例会会議録第1号（14日）

招集年月日	令和2年12月14日					
招集の場所	下仁田町議会議場					
開閉会日時 及び宣言	開会	令和2年12月14日午前10時00分			議長	島崎 紘一
	閉会	令和2年12月22日午前10時13分			議長	島崎 紘一
応（不応）招議員 及び出席並びに 欠席議員 出席 12名 欠席 名 欠員 名 凡 例 ○ 出席を示す △ 欠席を示す × 不応招示す	議席番号	氏 名	出席等の別	議席番号	氏 名	出席等の別
	1	小井土 光 弘	○	7	佐 藤 博	○
	2	大 手 博 幸	○	8	千 野 榮 治	○
	3	佐々木 信 也	○	9	島 崎 紘 一	○
	4	岡 田 邦 敏	○	10	堀 口 博 志	○
	5	木 暮 弘 元	○	11	岡 田 武 二	○
	6	岩 崎 正 春	○	12	佐 藤 公 夫	○
会議録署名議員	8番	千 野 榮 治	10番	堀 口 博 志		
職務のため議場に 出席したものの氏名	事務局長	岩 井 収		書記	佐 藤 里 奈	
地方自治法 第121条に より説明のた め出席した者 の氏名	町 長	原 秀 男		福祉課長	岡 野 宏 巳	
	教 育 長	茂 木 学		保健課長	永 井 邦 佳	
	総 務 課 長	岡 野 均		農 林 課 長	東 間 克 敏	
	企 画 課 長	竹 内 誠		商工観光課長	佐 藤 圭 司	
	住 民 税 務 課 長	猪 野 ともえ		建設水道課長	佐 藤 正 明	
	会 計 課 長	柴 田 悦 子		教 育 課 長	林 通 典	

## 議 事 日 程 別紙のとおり

---

### 会 議 に 付 し た 議 件

---

- 1 会議録署名議員の指名
- 2 会期の決定  
町長挨拶
- 3 一般質問

## 会 議 の 経 過

---

開 会 令和2年12月14日 午前10時00分

---

○議長 島崎紘一 議員の出席が定足数に達しておりますので、ただいまから、令和2年第4回下仁田町議会定例会を開会し、ただちに本日の会議を開きます。

---

○議長 島崎紘一 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。  
会議録署名議員は、会議規則第126条の規定によって、8番 千野榮治君と、10番 堀口博志君を指名いたします。

---

○議長 島崎紘一 続いて、日程第2、会期の決定を議題といたします。  
本定例会の会期については、さきの議会運営委員会で本会議の運営等について協議がされておりますので、その結果について、報告を求めます。議会運営委員長

(堀口博志議会運営委員長 登壇)

○議会運営委員長 堀口博志 おはようございます。  
議長の指名がありましたので、議会運営委員長報告を申し上げます。  
去る12月7日、午前10時から303委員会室において、議会運営委員会を開催し、本定例会の会期、日程及び議案の取扱い等の議会運営に関する事項について、協議をいたしましたので、その経過と結果についてご報告申し上げます。  
まず、会期につきましては、本日から12月22日までの9日間とし、議事日程につきましては、お手元に配付されている日程表のとおりであります。  
本日は、会議録署名議員の指名、会期の決定の後、町長にご挨拶をいただ

きます。その後、一般質問を岡田邦敏議員が行います。

また、一般質問終了後、全員協議会を開催し、本定例会に提案されております、議案等の細部にわたる説明をしていただきます。さらに時間内に終了しない場合は、15日に引き続き開催させていただきます。

15日は、引き続き全員協議会を開催する場合は終了後、14日に全員協議会が終了した場合は、午前10時より本会議を開催し、報告第7号から第82号議案までの提案者の説明、質疑、討論、採決を行います。

次に、第83号議案の補正予算については、提案者の説明、質疑の後、予算決算特別委員会に付託し、陳情につきましては、所管の委員会に付託し、審査をお願いすることに決定しました。

16日は、予算決算特別委員会を開催し、17日は休会とし、18日及び21日は委員会の予備日といたします。

19日及び20日は、休日につき休会といたします。

22日最終日は、本会議を開き、各委員長から委員会審査の報告を受けた後、第83号議案に対しての討論、採決及び陳情の採決を行い、全日程を終了する予定です。

以上、この会期、日程等にご賛同を賜り、円滑な議会運営ができますよう議員各位のご協力をお願い申し上げます、委員長報告といたします。

○議長 島崎紘一 お諮りいたします。

本定例会の会期は、議会運営委員長報告のとおり、お手元に配付の日程表により、本日から12月22日までの9日間にしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 島崎紘一 異議なしと認めます。

したがって、本定例会の会期は、本日から12月22日までの9日間と決定いたしました。

○議長 島崎紘一 続いて、町長から定例会の招集の挨拶並びに就任後初議会でございますので、所信表明を願います。町長

(原秀男町長 登壇)

○町長 原秀男 皆様おはようございます。

令和2年第4回議会定例会の開会に当たり、ご指名をいただきましたので、ご挨拶を申し上げます。

本日は、議員の皆様におかれましては、12月の定例会にご参集いただき、

誠にありがとうございます。

さて、去る11月24日に告示されました下仁田町長選挙におきまして、町民の皆様より再度のご負託をいただき、引き続き町政のかじ取りを担わせていただくことになりました。これもひとえに議会議員各位のご指導の下、町政運営が滞りなく行われてきた実績を町民の皆様にご理解いただいたことであると認識し、ここに改めまして感謝申し上げます。

無投票という結果につきましては、選挙戦と異なり、直接住民の皆様の声を拝聴できる機会が少なく、しかしながら、その真意は今後におきまして自らがこれまで以上に住民要望把握に努めるべきであると深く受け止め、心新たに緊張感を持って、住民主体の町政運営に一意専心してまいり所存であります。議員の皆様には引き続き変わらぬご鞭撻を賜り、さらなる郷土の発展を目指し、ご協力いただきたく、衷心よりお願い申し上げます。

さて、本定例会は、町長就任後初の定例会でございます。ここで所信を述べさせていただきます。存じます。

今後4年間におきましては、いまだ猛威を振るうコロナ対策は当然のことながら、コロナ後の社会を見据えた経済基盤の強化のための産業支援、観光誘客など積極的に推進し、豊かな地域づくりを進めていくことが肝要であると深く認識しております。さらに町民の皆様が安心な生活ができますよう、地域強靱化を軸とした防災対策、また、地域医療確保など、幅広い世代の方々が心安らかに、かつ生きがいを持って日々を送れる地域社会の実現に向け、取り組んでまいります。

また、他地域に先駆け、率先して事業を推進してきましたICT教育については、県内でも有数の先進地となり、各所より視察を受け入れ、コロナ禍の休校時にも大きな成果を上げたところであります。これら事業の実績を生かし、地域の宝であります子供たちの教育環境のますますの充実に努め、人材育成に注力してまいりたいと存じます。

今後においても厳しい視点で行財政改革を進め、必要な未来への投資を行い、次の世代を担う子供たちに豊かな郷土を継承できるよう努めてまいります。

以上、概略ではございますが、就任に当たり所信を述べさせていただきました。

さて、本定例会には補正予算を含め5議案をご提案申し上げます。

まず、第79号議案として、下仁田町議会の議決に付すべき事件に関する条例の一部を改正する条例、続いて、第80号議案 下仁田町手数料条例の

一部を改正する条例、第81号議案 下仁田町議会議員及び下仁田町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例、第82号議案 町道路線の認定に係る議案、そして第83号議案 一般会計補正予算に係る議案についてご審議いただきたくご提案申し上げます。

そのほか報告、陳情各1件がございます。

詳細につきましては、後ほど担当課長からご説明を申し上げますので、よろしくご審議のほど、ご議決を賜りますようお願い申し上げます。

以上、令和2年第4回定例会の開会に当たりまして、所信を含め、ご挨拶申し上げます。よろしくお願いいたします。

---

○議長 島崎紘一 次に、日程第3、一般質問を行います。

通告書に従いまして質問を許します。岡田邦敏君

(岡田邦敏議員 一般質問席へ)

○4番 岡田邦敏 おはようございます。

議席番号4番、岡田邦敏。議長の許可を得ましたので、通告書に基づき質問させていただきます。

最初の項目でありますテーマ型キャンプ場ですが、ネットで検索してみると分かりますが、全国的にかなりの部分です。なぜ下仁田町に必要か、また、適しているか幾つか挙げてみたいと思います。

まずは都心から車で約1時間ぐらいの好立地条件であるということ、そして、自然が残っている。特に夜になると星空が大変きれいです。それと、川がきれいで、溪流釣りができる。次に、家族で温泉を楽しむことができる。また、サイクリングや牧場でのハイキングが楽しめる。次に、下仁田ねぎ掘り体験や山菜取りが家族で参加できる。このようにキャンプのほかにもいろいろなテーマに特化したことができる場所が下仁田にはたくさんあります。

そこで質問ですが、テーマ型キャンプ場の候補地としたい、まずはサンスポの多目的グラウンドと、馬山グラウンドと、さらにはほたる山公園の現在の使用頻度はどのぐらいになるかお尋ねします。

○議長 島崎紘一 町長

○町長 原秀男 その件に関しましては、商工観光課長に答弁させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○議長 島崎紘一 商工観光課長

○商工観光課長 佐藤圭司 お答えいたします。

令和元年度サンスポ多目的グラウンドの利用期間は4月から11月の間で、

使用頻度 11 件の 311 人、馬山グラウンドは 1 年間で 11 件の 171 人、ほたる山公園は 4 月から 11 月の間で 150 組の 1,070 人でございます。

○議長 島崎紘一 岡田君

○4 番 岡田邦敏 ありがとうございます。

使用頻度は若干少ない状況ではありますが、最近、民間等でキャンプ場の新設の動き等がありますか、お尋ねします。

○議長 島崎紘一 商工観光課長

○商工観光課長 佐藤圭司 贅沢にアウトドアを楽しむ新しいリゾートスタイルのキャンプであるグランピングが注目を集め、人気が高まっていることから、西野牧や富岡市妙義町に民間企業が開設しております。

○議長 島崎紘一 岡田君

○4 番 岡田邦敏 今、課長の答弁の中にありました下仁田の西野牧と言っておりましたが、どのあたりにそのグランピングをしているところがあるんですか、教えてください。

○議長 島崎紘一 商工観光課長

○商工観光課長 佐藤圭司 和美峠の別荘地内でございます。

○議長 島崎紘一 岡田君

○4 番 岡田邦敏 最近はやりの高級志向なグランピングもいいんですが、町所有の施設を利用して、リーズナブルに家族で楽しめるテーマ型キャンプ場を開設したらいいと自分は思います。ただし、施設の利用料等も考え、費用対効果の計画を作成していただければと思います。

例えばサンスポ多目的グラウンドでキャンピングした場合には、近くの荒船の湯で温泉を楽しみ、道平ダムの周辺でサイクリング、また、神津牧場でハイキングというふうに家族で楽しめると思います。また、馬山グラウンドを利用した場合には、下仁田インターも近いし、ブランドの下仁田ねぎ掘り体験なども容易にできる最高な立地条件だと思います。

また、スタッフには若い人はもちろんですが、山菜取りや魚釣り等、いろいろな分野で名人がいるシルバー人材の方たちにも活躍の場を設けることで雇用も伸びると思いますが、現状のシルバー人材の人数や仕事量はどんな状況かお尋ねしたいと思います。

○議長 島崎紘一 福祉課長

○福祉課長 岡野宏巳 お答えいたします。

下仁田町社会福祉協議会が行っているシルバー人材センターは、高齢者が長年培った経験や知識、技能を生かして働くことにより生きがいを得るとと

もに、社会貢献をすることを目的とした団体で、健康で働く意欲のある原則60歳以上の高齢者であれば誰でも会員として参加できます。令和2年12月1日現在、48名の方が会員登録されており、現在は男性40名、女性8名、平均年齢は73.6歳であります。

作業内容としては、施設や建物の管理、大工仕事、ペンキ塗り、植木の剪定、障子、ふすま、網戸の張り替え、屋内外の掃除、除草、草刈り、農作業、荷造り、運搬、梱包、包装等の作業を行っていただいております。会員の方には分配金という形で、その作業時間及び内容に応じて支払っております。職人作業を行った方には若干上乘せした単価の配分券を支払わせていただいております。

仕事量としては、時期的なものもあり、夏場の草刈り作業は仕事の依頼が多く、作業については待つていただくこともありますが、その他の時期は依頼があれば対応できるという状況でございます。

○議長 島崎紘一 岡田君

○4番 岡田邦敏 新型コロナウイルス感染が終息になってすぐにできることではありません。施設の有効活用を考え、今はその準備期間として捉えていただき、幾つかの課題を解決し、テーマ型キャンプ場を町が開設すれば、農家の方は収穫体験用の野菜を作り、野菜作りに力を入れて、耕作放棄地もこれ以上増えないようになると思います。

また、キャンプにはバーベキューがつきものですので、その食材を調達するのに町内の商店を活用することで、その結果、町の活性化が図れると思います。担当課としてはどうでしょうか。

○議長 島崎紘一 商工観光課長

○商工観光課長 佐藤圭司 現在、コロナ禍により余暇の過ごし方が変わってきており、キャンプの人気は高まっております。そこで、ほたる山公園において12月から3月の冬期閉鎖期間の土日、祝日に限り開園をし、自然の満喫や、下仁田ねぎ掘り体験をキャンプに結びつけ、また、食材を町内で調達していただける取組も含め、検討していきたいと思います。それには費用対効果を見据えた中で、施設使用料についての見直しをしていくことも必要であると考えます。

○議長 島崎紘一 岡田君

○4番 岡田邦敏 そうですね。町で手がけることは費用をかけた割には効果が上がらないということにならないよう、十分検討をしてください。

今回のテーマ型キャンプ場設置について町長のお考えを聞きたいと思いま

す。お願いします。

○議長 島崎紘一 町長

○町長 原秀男 今、コロナがかなり厳しい状況ですけれども、私の先ほど挨拶させてもらったように、観光誘客に力を入れていきたいと思います。そういった意味で前向きに検討していきたいと思っております。大変いいことだと思いますので、よろしく願いいたします。

○議長 島崎紘一 岡田君

○4番 岡田邦敏 ぜひコロナが終息しましたら、施設を有効活用し、町に人を呼べる政策の検討をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

次に、2項目めに掲げました町関連の役職について質問したいと思います。

町からそれぞれの地区に依頼して選出いただいている役職はどのぐらいありますか。また、人数や選出方法についても伺いたしたいと思います。お願いします。

○議長 島崎紘一 町長

○町長 原秀男 この件に関しては総務課長に答弁させていただきます。

○議長 島崎紘一 総務課長

○総務課長 岡野均 お答えいたします。

現在、下仁田町には31の行政区がございます。その全ての行政区から選出していただいております役職は、区長、民生児童委員、そして保健推進員でございます。

次に、人数と選出方法についてでございますが、区長は31名で、各行政区からの推薦により選出していただいております。次に、民生児童委員につきましては38名で、各行政区から推薦をしていただき、町の民生委員推薦会で審査し、選出しております。最後に、保健推進員でございますが、109名で、各行政区長の推薦により選出していただいております。

○議長 島崎紘一 岡田君

○4番 岡田邦敏 ありがとうございます。

行政区からの選出は区長、民生児童委員、保健推進員ということですが、近年、高齢化が進み、それに関連し、空き家が増えて世帯数が減少傾向にあります山間部の集落では、役職の選出に大変苦慮しているようですが、その点はどうでしょうか。

○議長 島崎紘一 総務課長

○総務課長 岡野均 お答えします。

それぞれの役職に共通することと思われませんが、特に世帯数の少ない地区

におかれましては、後任を選出するのに時間を要するとのことのご意見はお聞きします。また、1つの役職が終了したのと同時に、違う役職に選出されるというような場合もあるというようなご意見も伺っております。

○議長 島崎紘一 岡田君

○4番 岡田邦敏 そうですね、1つの役が終わって、また次もまたやらなければならないという声を時たま聞くことがあります。よろしくお願いします。

町から依頼する役職はそれぞれ重要だと思われませんが、特に区長や民生児童委員の選出が山間部では大変と聞いております。今回は数多い役職の中で区長と民生児童委員のことについて幾つかお尋ねします。

まず、区長と民生児童委員の平均年齢はどれぐらいですか。

○議長 島崎紘一 総務課長

○総務課長 岡野均 お答えします。

まず、行政区長でございますが、令和2年4月1日現在の平均年齢は68歳でございます。民生児童委員につきましては、現委員の任命日であります令和元年12月1日現在の平均年齢で65歳でございます。

○議長 島崎紘一 岡田君

○4番 岡田邦敏 その中で区長の役割等は住民の方も比較的 Understanding しているような気がします。また、民生児童委員の役割等はなかなか住民の方が Understanding していないような気がします。どうですか。

○議長 島崎紘一 福祉課長

○福祉課長 岡野宏巳 民生児童委員は同じ地域で生活する住民の一員として、住民からの様々な生活上の困り事や心配事に関する相談に応じ、必要な支援を受けられるよう、地域の専門機関へのつなぎ役としての役割を担っていただいております。

仕事内容の紹介としましては、昨年12月の改選期後の広報しもにた1月号に新役員名簿と一緒に仕事内容を載せております。そのほか今年の5月の民生委員・児童委員の日の活動強化週間の取組として、担当地区内へのポケットティッシュを配布しながら、挨拶と民生委員活動のPR活動をしていただきました。

○議長 島崎紘一 岡田君

○4番 岡田邦敏 3年間の任期ということを知っておりますが、改選期はもちろんですが、毎年年に2回は1枚刷りで、もっと見やすくして、広報等で民生児童委員の方々の仕事内容や役割をもっと一般の住民の方に Understanding してもらえるようにしていただき、民生児童委員が住民の方から相談を受けた場合など、

個人で悩んだり、あまり自分で抱え込まないよう、行政の職員側として、行政として取り組んでいただきたいと思います、いかがですか。

○議長 島崎紘一 福祉課長

○福祉課長 岡野宏巳 今回の改選につきましては、17名の方が新任の民生児童委員さんになりました。取り扱う事柄も個人情報を含むものもあり、ご苦労なさっていらっしゃると思います。先ほどの回答にもなりますが、地域と専門機関へのつなぎ役ということで考えていただければと思います。住民の方の中には役場には言いにくい、近所の人なら言えるというような方もいらっしゃると思います。そのような方の相談を受けていただき、それを町の担当部署でつないでいただければと思います。

委員さんの仕事内容の広報につきましては、毎年5月に民生委員・児童委員の日というのがありますので、その時期に合わせて、今後は広報活動を考えていきたいと思っています。

○議長 島崎紘一 岡田君

○4番 岡田邦敏 ありがとうございます。

特に新しく民生委員になった方のフォローを役場のほうでできればお願いしたいと思います。

また、町の人口が1万人以上いた時代から慣例で、地域割りや人数、また仕事量がそれぞれの役職であまり変わってないようですが、担当課としてはどう思われますか。

○議長 島崎紘一 福祉課長

○福祉課長 岡野宏巳 定数の基準につきましては、町村においては70から200までの間で、いずれかの数の世帯ごとに民生委員1名となっております。その基準で単純に全世帯数を員数で割ると、1人当たり約87世帯になりますが、実際にはそれぞれの地区の世帯数が異なっているため、現在の地区割りと員数になっています。ただ、世帯数の減少は考えられますので、地域的な状況を考慮しながら、今後は定数の見直しも考える必要はあるかと思っています。

また、仕事についても本来の民生児童委員活動に合った仕事であるかどうかを精査していく必要もあるのではないかと考えております。

○議長 島崎紘一 岡田君

○4番 岡田邦敏 そうですね。地域的な温度差もかなりありますので、今後の委員さんのためにも前向きな検討をお願いします。

最後になりますが、町長の考えをお聞きしたいと思います、よろしくお願いします。

○議長 島崎紘一 町長

○町長 原秀男 これも山間部における自治体は皆同じような悩みがあるのかなと思っています。他地域も参考にし、また安心な社会になりますよう、できることからともかく解決、手をつけていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○議長 島崎紘一 岡田君

○4番 岡田邦敏 そうですね、単年度ではなく、中期的、また長期的な考えで何年か後を見据えた中で検討していただきたいと思います。ぜひよろしくお願いいたします。

時間が余りましたが、以上で質問を終わりにさせていただきます。ありがとうございました。

○議長 島崎紘一 以上で一般質問を終結いたします。

---

○議長 島崎紘一 本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。

大変ご苦労さまでした。

なお、引き続きまして、10時40分より302委員会室において、全員協議会を開催しますので、議案書をお持ちの上、移動していただきますようよろしくお願いいたします。

---

散 会 令和2年12月14日 午前10時32分